

資 料

東北大学男女共同参画委員会 委員会開催等記録

－ 委員会開催日程 及び 主要議題、具体的活動 －

平成15年4月1日 沢柳賞応募開始

平成15年5月12日 第19回 委員会開催

1. 平成15年度男女共同参画委員会委員の顔合わせ
2. 今年度の男女共同参画委員会各WG座長の選出
 - 実態調査WG 米永一郎委員(金研)
 - 広報WG 笹尾真実子委員(工)
 - 相談窓口WG 吉武清実委員(学生相談所)
 - 両立支援WG 本郷一夫委員(教育)
 - 奨励制度WG 大隅典子委員(医)
 - 報告書WG 辻村みよ子委員(法)
3. その他
 - ① 沢柳賞、第2回東北大学男女共同参画シンポジウムについて
開催時期、会場について各担当WGで検討をすることとした。
 - ② 今年度の活動計画について
辻村副委員長から、今後は男女共同参画委員会委員と各部局の男女共同参画WGとで連携をとり、部局毎の活動や環境の実態等の検証をしていきたい旨の提案があり、次回委員会以降、部局毎のWG活動の実態及び今年度の活動内容等について話し合うこととした。

平成15年6月10日 第20回 委員会開催

1. 沢柳賞について
2. 第2回東北大学男女共同参画シンポジウムについて
3. 各WGからの報告(主な報告のみ)
 - 実態調査WG
今年度は、学生・院生を対象としたアンケートを実施することとした。
また、調査方法、時期等は今後WGで検討していくこととした。

平成15年6月30日 沢柳賞応募〆切

計18件の応募があった

平成15年7月17日 第21回 委員会開催

1. 沢柳賞審査委員の決定
 - 鈴木委員長
 - 辻村副委員長

大隅奨励制度WG座長
三浦総務部長（事務局）
生田久美子教授（教育学研究科）
南條正巳教授（農学研究科）
井川真砂教授（国際文化研究科）

2. 各WGからの報告

①実態調査WG

学生・院生を対象としたアンケートの回収率をあげるため、各部局から効率的な回収方法を報告してもらう事前調査を行うこととした。

②両立支援WG

「かすみがせき方式」の保育所、仙台市内にある保育所の設置状況等について報告があった。

平成15年8月19日 沢柳賞受賞者内定

平成15年9月18日 第22回 委員会開催

1. 第2回東北大学男女共同参画シンポジウムについて

当日のプログラム、進行、ポスター・パンフレットについて案がだされ、検討の結果了承された。

2. 沢柳賞受賞式などについて

沢柳賞受賞内定者、委員会で正式に決定

3. 各部局の活動報告

文学研究科 特に進展なし

法学研究科 今回の人事異動で女性教官の割合は18%になった（講師以上51名中9名が女性）。また、従来休憩室等は男女共用としていたが、新たに女性職員専用の休憩室を設置した。

理学研究科 10月22日（水）17時から「サイエンスとジェンダー」のテーマで講演会を行う。後日ポスターを配付すること。情報科学研究科での女子学生の集まりを支援するネットワークを、理学研究科でもつくりたいと考えている。学部生に対してT・Aを通して交流を図る活動もしている。さらに、理学研究科では何故女性教官の人数が少ないかを、理学研究科の男女共同参画WGで検討するようお願いをしている。

医学系研究科 WGでは、医学系研究科で何ができるか検討中である。その一環として、初期研修でジェンダーセミナーを取りこんだ研修を行っている。今年度は辻村副委員長が、講師を務めた。また、女性用休憩室の設置については、場所の確保まではできた状態である。

歯学研究科 昨年9月にWGを設置したが特に活動はしていない。今後活動計画を立てて実施に移していきたい。

薬学研究科 配付資料により、昨年度薬学研究科で行なったアンケートの結果報告があった。アンケートで要望されていたトイレの数を増やすことについては、6月の新棟の完成でほぼ解決できた。女子専用休息室を薬学部A棟に設置する予定である。

工学研究科 今年度のWGは立ち上げたばかりのため、今後活動を開始する方針である。宮城研究科長からは、女子の受験生等に対する啓蒙活動をしていきたいとの要望等を受けて、これらを今後のWGでの活動内容としていく。

農学研究科 部局WGに委員会での活動内容を報告している。今後もこれを続けてい

	く。また、先日、教官のセクシュアル・ハラスメントに関する勉強会を行なった。さらに、農学研究科は移転対象部局であることから、移転に関する担当でもある山谷委員が男女共同参画の立場で、新しい建物の中に保育室として使用できる部屋を設置して欲しい旨の要望をだしている。
国際文化研究科	昨年度のWGの報告書と提案を受けて、国際文化研究科としての常置の委員会が立ち上がったが、まだ、会議は行っていない。授業に関しては、研究科共通科目としてジェンダー論は非常勤講師を招いて講義を行なっている。今年度のはじめに、管理棟の移転に伴い女性職員の更衣室・休憩室を設置した。
情報科学研究科	今後のWGで、男女共同参画のプラン、環境整備案などを検討していきたい。女子学生の交流を促進する会の継続と発展を進めていきたい。なお、今後は学術振興会と連携して、ジェンダー学の講演会の開催を検討している。また、教官公募の際に男女共同参画を推進している旨を明記している。
生命科学研究科	女性教官が少ないため、今後配慮をしていく。具体的には、最終選考で研究・教育面で男性と同等と認められた場合は、積極的に女性を採用することにした。また、男性が選ばれた際には、「何故男性を採用したのか」その説明責任を負うこととした。
環境科学研究科	WGを開催し、次の2つの案を取りまとめた 1. 女性用の更衣室・休憩室の整備を各研究棟ごとに設置して欲しい旨の要望をまとめた。 2. 女性の職場・研究環境に対する相談窓口を設置し、女性の職員・学生が利用しやすいようにWGの女性教職員が対応することとした。また、相談を受けた内容は、男女共同参画委員会で報告することとした。
金属材料研究所	春の所内講演で、男女共同参画に関する講演を行なった。また、現在WGの女性研究者を中心に、研究所に所属する女性研究者・学生のネットワークをつくるようお願いしている。今後、勉強会などを開催していきたい。
多元物質科学研究所	WGを立ち上げたばかりなので、今後活動していきたい。
留学生センター	特に活動はしていないが、留学生センターの新しい移転先に、女性用トイレの数を増やすよう要望したところ、要望がとおり数が増えた。

平成15年10月20日 第23回 委員会開催

1. 第2回東北大学男女共同参画シンポジウムについて
ポスター、パンフレットの送付済報告、当日進行の確認。

平成15年10月23日～平成15年11月7日

学生・院生を対象としたアンケートの実施
(今現在集計中、回収率は25%程度)

平成15年11月10日 第24回 委員会開催

1. 委員の交代
委員長から、10月1日付で高倉委員(東北アジア)から柳田委員(東北アジア)へ交代があった旨報告。
2. 第2回東北大学男女共同参画シンポジウムについて(最終確認)
さらなる、PRを各委員へ依頼した。

平成15年11月26日 水) 16:30～ 19:00

東北大学川内マルチメディア教育研究棟にて、第2回東北大学男女共同参画シンポジウムを開催

平成15年12月18日 第25回 委員会開催

1. シンポジウムの総括・今後の課題について
広報WG報告書を参考
2. 学内保育所の設置・運営形態について
鈴木委員長から総長補佐会議に提案するとの発言があった。
3. 各WGからの報告
 - ① 実態調査WG
学生・院生に対するアンケートの1次分析結果が報告された。
 - ② 相談窓口WG
今年の相談窓口への相談件数は0件だったため、教職員への広報・周知を検討する事とした。
 - ③ 報告書WG
平成15年度委員会報告書の作成スケジュールを下記のとおり進めていくこととした。

1月23日(金)	報告書掲載原稿の締切
1月末	第26回男女共同参画委員会で原稿の検討
1月末から2月末までの間	加筆・修正等を行う
2月末	第27回男女共同参画委員会で報告書の承認
3月16日(火)	部局長会議へ委員会報告書を提出 (この時点ではペーパーで提出)

部局長会議へ提出後、業者へ印刷依頼をする。
なお、今年度はシンポジウム報告書と委員会報告書を1冊にまとめた形で作成することとした。

平成16年1月27日 第26回 委員会開催

1. 平成15年度委員会報告書について
辻村座長から、配付資料に基づき報告書の構成について概ね以下のとおりとりまとめていく旨の説明があった。
 - ・ これまでの本委員会の活動概要(辻村副委員長作成)
 - ・ 各WGの年間活動報告
 - ・ 各部局における取り組み状況
 - ・ シンポジウムについて(パンフレットの掲載等)
 - ・ 学生・院生アンケートの集計結果等なお、校正等の都合のため、今後以下のスケジュールで進めていくこととした。

2月10日	原稿(改訂版)の提出締切(総務部総務課)
2月25日	原稿確定
2. 各WGからの報告
今年度の男女共同参画委員会報告書の原稿をもとに、各WGから今年度の活動報告があった。

以上